

令和4年3月16日

天龍中学校長 塩澤孝仁

保護者の皆様へ



令和3年度卒業生の皆さん及び保護者の皆様、ご卒業おめでとうございます。

1・2年生生徒及び保護者の皆様、1年間の課程修了おめでとうございます。

天龍中学校職員一同、生徒のご家庭や地域と連携し、「ひとりになれる ひとつになれる」の重点目標の下で「自己とふるさとの未来を見つめ、生きる力と天龍力を育む」教育を目指しトライ&エラーの精神でチャレンジしてきました。今年度1年間の保護者や地域の皆様に対しまして、本校の教育活動へのご理解ご支援に大変感謝申し上げます。

～卒業式での式辞・送辞・答辞より 一部抜粋～

式辞より

(前略) 先輩後輩や先生方、家族や地域の方々に支えられながら、3名の個性を爆発させ、たくましく成長してきました。模範となる姿を見せ下級生をリードした生徒会長を中心とした生徒会活動、譲葉祭実行委員長さんをリーダーに Together with everyone みんなで一つになって作り上げた譲葉祭、プロジェクトリーダー中心に梅花プロジェクトと2020本を全て送り届けたハンガープロジェクト。これらの活躍は、コロナ禍で形を変えながらも、本来の目的を見据えて実施し、後輩のよきモデルとなって活動し、素晴らしい文化も残してくれました。今できることを工夫をしながら活動をする中で、新たな学びと未来を拓く力が得られたのではないかと思います。

これから先の社会は、不穏な世界情勢やコロナ感染症など、先が見えない、予想もつかない世の中となっています。このような社会の中で生き抜いていくためには、自分と向き合い、多様な考えを持った仲間とともに協働し、自分なりの答えを導き出していく力が求められます。ときに悩んだり苦しんだり困難や壁に突き当たることと思います。『夢と希望を持ち』、『トライ&エラーでチャレンジし』、『常に笑顔で』未来に向かって歩いていってください。これが私から皆さんへのエールです。(後略)

送辞より

(前略) 今年度は、「一期(いちご)一笑(いちえ)～学年の枠を越えて心をつ一つにして活動する～」という生徒会スローガンのもと、全校で協力し合う生徒会をつくりあげてくださいました。

譲葉祭では、Together with everyone～みんなで一つに～のテーマのもと、譲葉祭を全校で一丸となって成功に導くために、努力をしていた姿がありました。どんなに大変でも、私たち一・二年生を気遣(きづか)いながら活躍(かつやく)の機会を与えてくださいました。

全校一丸となって、文化祭を成功させるために、全校製作として、譲葉祭の文字を体で表現しました。(後略)

答辞より

(前略) 中学校での活動を全て終えた今、私たちは中学校生活で関わったたくさんの人たちと一緒に過ごした日々、充実感と感謝の思いでいっぱいです。

一・二年生のみなさん、私たち三年生は、皆さんの協力にいつも助けられてきました。みなさんがいたからこそ、たくさんの活動をやりとげ、困難も乗り越えることができました。四月からはきっと、みなさんがこの天龍中学校を、さらに素晴らしいものにしていくと期待しています。

私たちはこれから、それぞれ新たな道を歩いていきます。大きな壁にぶつかることもあるかもしれませんが、今までに学んだことを自信にして、自分らしく歩み続けていきます。(後略)

校長室より⑬

3年生を送る会（3月14日）



生徒会新役員の企画により、球技大会と3年生を送る会が行われました。午前中の球技大会では、天中バレーのルールでソフトバレーを職員も一緒になって楽しみました。午後の送る会では、かくれんぼ大会と1・2年生の「糸」の合唱、職員の「正解」の合唱などで、ちょっぴり寂しいけれど、心も体も温まる時間になりました。3年生からは震えながらもしっかりとした感謝の言葉がありました。

梅の木（生徒会）が 「仲間への感謝」の言葉で満開



昨年より2週間以上遅れて 天龍中梅園の梅が開花



卒業証書授与式（3月16日）



「春は出会いと別れの季節」

年度末の卒業式や離任式は、生徒も職員も仲間との寂しく辛い別れとなります。今まで一緒にいた仲間と交わした言葉や情景が素敵な思い出となって心の中に残っていくことでしょう。この素敵な思い出がエネルギーとなって、次の出会いへのステップとなっていきます。

卒業生も転任する先生方も、この天龍中での素敵な思い出をエネルギーにして新たな地で活躍してくれることと思います。3名の卒業生は登龍門を通り立派に巣立っていきました。

「井の中の蛙 大海を知らず されど空の青さを知る」天龍村の空の青さを忘れないで…